

白地集落「集落営農ビジョン」

作成日:平成23年6月22日

市町村名	岩美町	組織名	白地機械組合
1 地区の範囲 岩美町白地 白地地区			
2 地区の概要			
水田面積	35.39 ha		
主な水田栽培作目	水稻、大豆、白ねぎ、アスパラガス		
農家数	50 戸		
認定農業者数	2 経営体		
地域水田農業ビジョンの担い手	2 経営体		
3 組織化の目標(設立時期の目標は、事業実施年度内とする。)			
・設立時期(規約等の制定日)【平成17年8月1日】			
	組織形態(該当形態に○)	構成農家数	
【現状】事業開始年度 ( 23 年度)	・未組織型 ・ <u>作業受託型</u> ・共同利用型 ・協業経営型	11 戸	
【目標】事業開始翌年度 ( 24 年度)	・共同利用型 ・ <u>作業受託型</u> ・協業経営型	11 戸	
注1)集積率の目標値を現状より高い数値に設定することが困難な場合、構成農家数の増でも可。			
4 集積率(経営、機械の共同利用及び作業受託)の目標			
項 目	【現状】	【目標】	
集 積 面 積 A	14.69 ha'	15.45 ha'	
対象水田面積 B	29.20 ha'	29.20 ha'	
集 積 率 A/B	50.3 %	52.9 %	
注1)集積率の目標は、50%超が採択要件			
注2)集積率の目標は、原則として現状よりも高い数値を設定すること。			
注3)集積面積の詳細は、別表「集積目標(実績)一覧」により作成。			

I 集落営農に対する基本方針(自由に記載)

【集落農業の現状と課題及び課題を解決するための対応方針】	
1 担い手の明確化及び水田利用集積目標	<p>白地集落では水田面積35haの内、基盤整備された32haで水稻を作付けしている。現在は2名の担い手で約10haを耕作しているが能力的にも限界にきていると思われる。</p> <p>また小規模な水田の耕作は作業の効率が悪く敬遠されているので荒廃農地を出さないためにも11名の有志で任意であるが組織を立ち上げた。</p> <p>主たる目的は、荒廃農地の防止と生産コストの削減を目標にし、準担い手として活動する。作業は個人所有トラクター、田植機及びコンバインを使用している。コンバインは所有者が廃棄予定にしているため、組織で共同購入し、作業料金の軽減を図りたい。</p>
2 水田作付計画、生産調整の方針・具体策	<p>水稻作付け計画、転作計画及び岩井地区営農活性化協議会の方針により、基本的にはブロックローテーションによる水稻、転作を実施する。</p>
3 農業用機械施設の効率利用	<p>個人所有のトラクター4台、田植機1台及びコンバイン2台のうち、コンバインは機械の老朽化と2条の小袋とりで作業効率も悪いため廃棄予定にしている。</p> <p>この度、組織で共同購入し、個人で更新することによる過大投資を避けコストの削減を図りたい。また、隣接団地内にある担い手のいない田についても積極的に作業受託をすることで効率的な利用を図りたい。</p>
4 世代交代、組織の後継者育成に関する方針	<p>現在2名のオペレーターで耕作しているが、構成員の中でオペレーターを育成することで多様な年代層を確保し、技術継承や後継者育成に努める。</p>
5 経営多角化の方針・具体策【経営多角化支援メニューを実施する組織においては必ず記入】	

II 農業用機械施設の整備方針

1 機械施設の整備方針

機械施設名	規格能力	台数等	金額(円)	導入予定年月	本事業による導入機械に○
コンバイン	4条刈り(47PS)	1	6,982,000	H23. 8	○
			(仮別)		